

# 経営比較分析表（平成29年度決算）

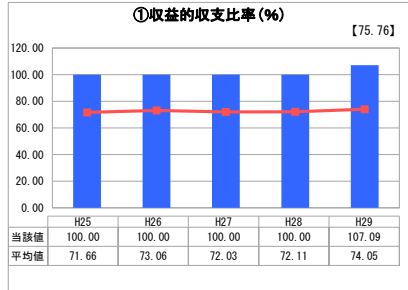
山形県 寒河江市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	水道事業	簡易水道事業	D4	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)	
-	該当数値なし	0.07	4,006	

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
41,463	139.03	298.23
現在給水人口(人)	給水区域面積(km <sup>2</sup> )	給水人口密度(人/km <sup>2</sup> )
30	19.50	1.54

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	平成29年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



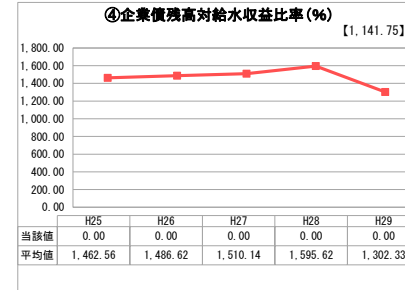
「単年度の収支」



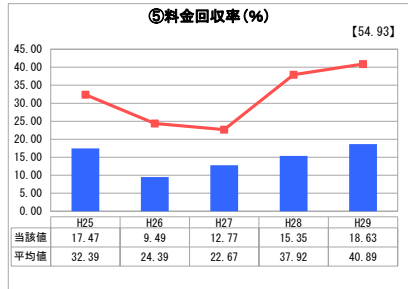
「累積欠損」



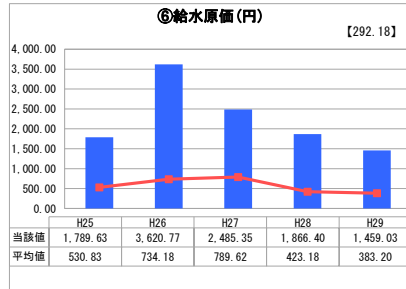
「支払能力」



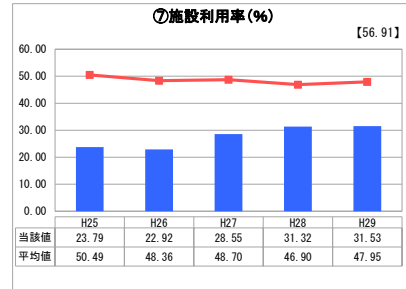
「債務残高」



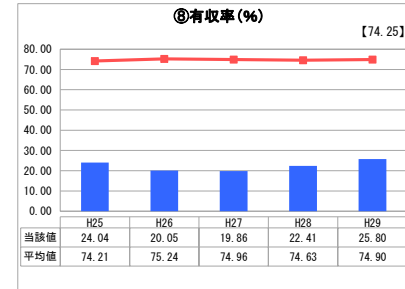
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

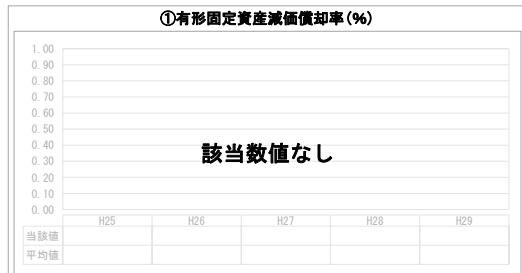


「施設の効率性」



「供給した配水量の効率性」

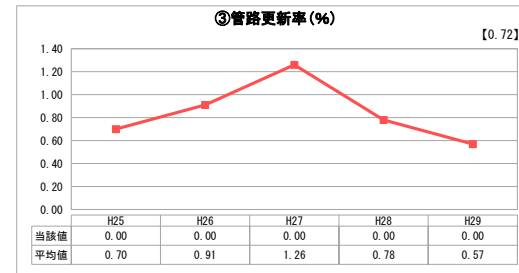
## 2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管路の経年化の状況」



「管路の更新投資の実施状況」

## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

①収益的収支比率  
不採算分は繰入金により充当されているが、100%を超え収入が支出を上回るのは事業廃止に伴う打ち切り決算のためである。

⑤料金回収率  
⑥給水原価  
⑦施設利用率  
料金回収率と施設利用率が低水準であり、給水原価が高水準となるのは水道利用者数が少ないことが原因である。

⑧有収率  
有収率が低水準となるのは、水道利用者が少ないため浄水が水道末端に到達するまで長時間を要することから、それら浄水の停滞に伴う消毒効果の減少を防ぐため末端で排水している水質保全水量が原因である。

### 2. 老朽化の状況について

平成23年度供用開始した施設のため、老朽化に該当する資産無し。

## 全体総括

⑤料金回収率  
⑥施設利用率  
事業規模が小さいため、各項目が平均値を下回っており経営が厳しい状況である。今後、水道利用者増を図り、歳出削減の徹底や財源確保に努め、健全な事業運営に努めるとともに、経営基盤の強化のため上水道事業と統合する。

※ 平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、管路更新率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。